

順天堂大学浦安・日の出キャンパス 開設記念シンポジウム ＜SUSTAINABILITY＞

2023年11月12日(日) 11:00～15:00

順天堂大学 浦安・日の出キャンパス(千葉県浦安市日の出 6-8-1)

2023年11月12日、順天堂大学浦安・日の出キャンパスにて、パネルディスカッション「臨床工学の将来を問う～どうしたら臨床工学技士の知名度をもっと上げられるか?～」が開催された。

臨床工学技士は、診療支援業務や機器の保守点検など、いまや臨床現場では不可欠な存在となっている。さらに、タスク・シフト/シェアや在宅医療、サイバーセキュリティ分野など、今後ますます臨床工学技士の果たす役割は大きくなると期待されている。近年、臨床工学技士養成施設の数が増加しているが、学生数は横ばいとなっており、臨床工学技士数は期待通りに増えてはいない。少子高齢化で18歳人口が減っていくなかで臨床工学技士数を増やしていくのには、どのようにしたらよいだろうか。高校生以下の生徒・児童やその保護者の方々に「臨床工学技士」という職業を知ってもらうために、どのような取り組みがあるだろうか。

まず本間 崇先生〔(公社)日本臨床工学技士会理事長〕が「臨床工学技士の現状と将来」について解説した。技士の年齢・男女比・どの業務に従事しているか、カリキュラム改定や告示研修などの詳細なデータをもとに、臨床工学技士のアウトラインが示された。



図 活発な討論の様子

左から、司会 峰島三千男先生(順天堂大学医療科学部臨床工学科教授)、中島 章夫先生〔(一社)日本臨床工学技士教育施設協議会代表理事〕、市場 晋吾先生(東京女子医科大学集中治療科、臨床工学科教授)、本間 崇先生〔(公社)日本臨床工学技士会理事長〕

次に市場 晋吾先生（東京女子医科大学集中治療科、臨床工学科教授）が「医療現場における臨床工学技士の役割と必要性」として、チーム医療・多職種連携のなかでの臨床工学技士の役割について医師の立場から語られた。医療の効率化や収益の観点からも技士の取り組みが期待される。

最後に中島 章夫先生〔（一社）日本臨床工学技士教育施設協議会代表理事〕による「臨床工学の将来を問う 臨床工学技士の知名度をもっと上げるには」にて、教育施設協議会での取り組みの紹介のほか、臨床工学技士のキャリアアップの考え方やどのような技士になってほしいかなど学生に向けての熱いメッセージもあった。

各パネリストの講演後、峰島三千男先生（順天堂大学医療科学部臨床工学科教授）の司会でディスカッションが行われた。一般の人に臨床工学技士を知ってもらうための施策について、「患者さんとの距離の近さ」「オープンキャンパス」「地域での子ども向け実験教室開催」「SNS」「中学や高校への説明会」「マスメディアでの紹介」など多くの意見が挙がり、活発な討論となった。

（株）Gakken クリニカルエンジニアリング編集室

医薬品・医療機器等安全性情報 No.405(2023年11月9日)

1. 医薬品副作用被害救済制度の概要と制度への協力をお願いについて
2. アセトアミノフェンを含有する製剤（医療用）の「使用上の注意」の改訂について
3. 重要な副作用等に関する情報
 - 【1】アパルタミド
 - 【2】テトロホスミンテクネチウム (^{99m}Tc)
4. 使用上の注意の改訂について（その 345）
 - ①フィルグラスチム（遺伝子組換え） 他 14 件
5. 市販直後調査の対象品目一覧

website

（独）医薬品医療機器総合機構ホームページ「医薬品・医療機器等安全性情報」コーナー（<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/calling-attention/safety-info/0043.html>）より医薬品や医療機器の安全性に関する情報をお届けします。